

新登場

NYダウ & マザーズ先物で 荒稼ぎ！ レバ2倍ETFより 機動力あり！

「ブレグジット・ショック」に揺れる株式市場。今後も波乱含みの展開が予想されるが、そんな中、新たに2つの金融商品が上場した。早くも話題沸騰だが、個人投資家にどんなメリットをもたらすのか？
取材・文●新井奈央、三枝裕介 撮影●倉部和彦、村越将浩

為替に左右されない
NYダウ証拠金取引！

英国のEU（欧州連合）離脱によるショック安、いわゆる「ブレグジット・ショック」に世界が揺れた6月24日。週明けの27日月曜日、東京金融取引所の「くりつく株365」に、新たに「NYダウ証拠金取引」が上場を果たした。
NYダウ証拠金取引は、ニ

ユーロ・ダウに連動する株価指数CFD（差金決済取引）のひとつ。くりつく株365には、これまで日経225とドイツのDAX指数、英国のFTSE100の3指数の証拠金取引が上場しており、今回のNYダウで4銘柄となる。
東京金融取引所では以前からNYダウ証拠金取引の上場を目指していたが、このほど、

ライセンス権利を持つS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社から使用の許諾を受けた。その点で、今回は念願の上場となる。くしくもマーケットがパニックに陥った直後の上場となったが、上場当日の記念イベントでは、関係者の表情は暗くなかった。無事にスタートが切れた安堵に加え、商品に絶対の自信を持つ

ていることの表れだろう。さらに7月19日、東京証券取引所に「東証マザーズ指数先物」が上場した。東証マザーズは個人投資家に人気が高く、昨今の全体相場低迷中でも大化けする銘柄が続出しているマーケットだ。
この特集では、これら指数取引のメリットや活用方法を紹介していく。



上場セレモニーの最中にも、投資家から多くの注文が入っていた。

日本円で米国に24時間投資可能。 NYダウ証拠金取引の魅力に注目

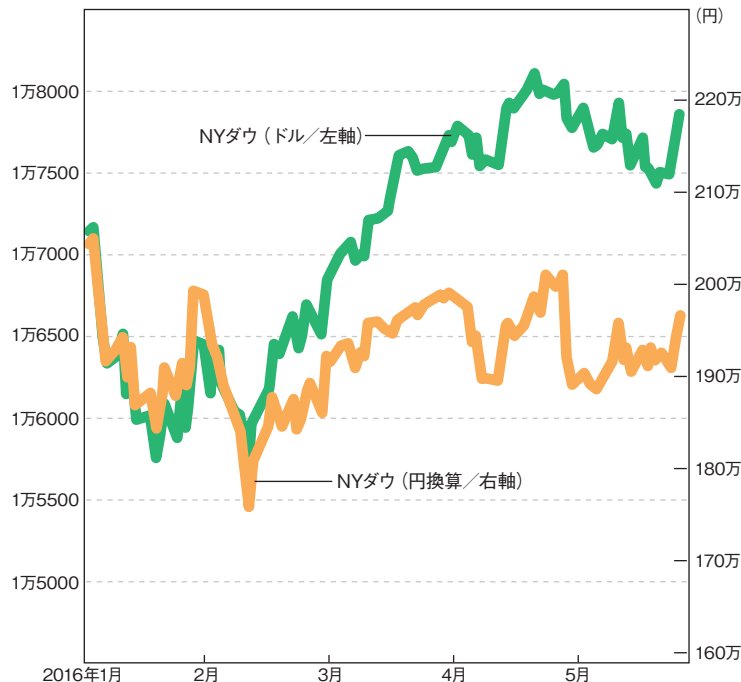
東京金融取引所の悲願だったNYダウ証拠金取引。耳慣れない投資家も多いだろうが、幅広いトレードが可能で商品として業界関係者の注目度は高い。

日本円だけで取引完了！
24時間トレードも魅力

まずは、CFDという商品について簡単に説明したい。CFDは、証券会社など取扱業者に預け入れた証拠金を担保に、株式や債券、商品などの金融商品を現物の受け渡しを行わずに買値と売値の差額のみで決済（差金決済）する取引のこと。証拠金を担保にした差金決済という点では、FX（外国為替証拠金取引）や日経平均先物取引と同様である。NYダウ証拠金取引は、米国を代表する株価指数ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）を対象としたCFDということだ。

では、NYダウ証拠金取引には、どんな魅力やメリットがあるのか。最大の魅力は、やはりFXや先物取引と同様

●ドル建てと円換算でここまで差が出る！



●為替変動がなければこんなに儲かっている！

○期間変更 (2月1日～)

	NYダウ (ドル) ①	米ドル/円 ②	取引金額 ①×②
2016.2.1	1万6449ドル	120.99円	199万0164円
2016.5.2	1万7891ドル	106.41円	190万3781円
損益	+ 1442ドル	-14.58円	-8万6383円

	NYダウ (ドル) ①	為替	取引金額 ①×100円
2016.2.1	1万6449ドル	なし	164万4900円
2016.5.2	1万7891ドル	なし	178万9100円
損益	+ 1442ドル	なし	+ 14万4200円

大きなレバレッジ（てこの原理）を利かせられるということ。加えて、下落相場でも収益を狙うことができる機動的な金融商品だ。東京金融取引所の石井豊さんは言う。

「紹介したいポイントはいくつありますが、まず、NYダウ証拠金取引は『日本円』で取引できることが挙げられます。一般的に、海外の金融商品を売買する際には為替の変動が収益に大きく影響しますが、NYダウ証拠金取引は

それを気にする必要が一切ありません」
左の図表は今年2月1日から5月2日までの間のNYダウと、NYダウを円換算（為替の影響を考慮）したチャートと収支表である。ドル建て

の取引では為替差損によって約8万6000円の損失となるが、もしも為替の影響がなければ14万円超がストレートに利益となる。
「さらに、NYダウ証拠金取引はほぼ24時間取引ができる

のもポイント。米国のNYダウ先物市場が開いていれば、日本の祝日も取引できます。日本市場がクローズしている時間でも、積極的な利益を狙ったり、リスクヘッジを行なうこ

とができます」(石井さん)

**取引期間は無制限。
税制面では課題も**

日経平均先物も、夜間の立ち合いを含めると取引時間は長いほうだが、NYダウ証拠金取引はそれを上回る。また、先物取引との最大の違いは、取引の期限がないことだ。先物には「限月^{げんげつ}」という期間が設定されているため一般的には3カ月で決済しなければならぬが、NYダウ証拠金取引にはそれが無い。

「買いで入ればNYダウ採用企業の配当相当額を受け取れますので、長期保有を前提にしたトレードにも適しているといえます。決済期限がないので、中長期投資家にとっても大きな魅力になるのではないでしょう」(石井さん)

ちなみに、上昇で儲かる「買い」で入った場合、通常は金利負担が発生するが、現在は日銀がマイナス金利を導入しているため、実質金利ゼロの状況となっている。

さて、肝心のレバレッジに

●NYダウ証拠金取引の特徴

1. NYダウを日本円で取引できる
2. ほぼ24時間、祝日も取引可能
3. 配当が受け取れる
4. 決済期限がなく、長期保有ができる
5. レバレッジ取引ができる

ついてだが、7月1日現在の証拠金基準額(取引に最低限必要な証拠金)をベースに計算すると、NYダウ証拠金取引の最大レバレッジは約43倍。日経225 miniや日経225証拠金取引と比べても高い数字だ。

「レバレッジを大きく利かせると、その分リスクは高まり



東京金融取引所 広報室

石井 豊さん

ますが、くりつく株365の証拠金取引であれば、ロスカット機能の整備を取扱業者に義務づけているため、損失は一定程度に抑えられます」(石井さん)

もつとも、NYダウ証拠金取引にも課題はある。FXや先物取引と同様、株式や債券、投信などの損益通算ができないことだ。それでも、レバレッジを利かせた短期のデイトレードから配当を受け取りながらの長期投資まで、両面のニーズに適している商品性は魅力的だろう。売買手数料

は魅力的だろう。売買手数料

●2015年のNYダウの配当実績

月	配当金
1月	20.64ドル
2月	63.42ドル
3月	21.02ドル
4月	15.43ドル
5月	71.10ドル
6月	20.02ドル
7月	22.00ドル
8月	68.58ドル
9月	19.98ドル
10月	19.63ドル
11月	68.25ドル
12月	26.12ドル

仮にNYダウ証拠金取引を1枚購入し、1年間保有していれば、**4万3619円**(436.19ドル×100円)が受け取れていた計算になる!

●NYダウ証拠金取引の概要

商品名	NYダウ証拠金取引
原資産	ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)
取引単位(1枚)	指数の数値×100円
証拠金基準額	1枚当たり4万2000円(相場状況によって変動)
取引時間	8時30分～翌6時 (NY夏時間は8時30分～翌5時)
非取引日	土曜日、日曜日、米国のNYダウ先物市場の休場日
配当相当額	あり(買い手は受け取り、売り手は支払い)
金利相当額	あり(買い手は支払い、売り手は受け取り)。6月1日現在は0円
取引期限	期限なし(限日取引)



はおおむね売買代金の0.01%程度で、原指数が4〜5円変動すれば利益が出る。現物株を保有する一方で、短期的なリスクが高まった際にヘッジ売りを行ったり、相場が暴落した直後に買って、配当をもらいつつ長期保有するなど、株式やその他の金融商品と組み合わせることで、トレードに幅をもたせられることは確かだ。

ちなみに、10万円の証拠金基準額でNYダウ証拠金取引を1単位買った場合、昨年の配当実績を当てはめると約4万

3000円の配当を受け取れたわけだから、配当利回りは実に43%超。やはりこの高利回りは見逃せない。

「取引所としては、魅力的な商品だと胸を張って言えるのですが、知名度が低く、投資家に普及していないのも事実。もっと多くの投資家にNYダウ証拠金取引の魅力を知ってもらいたい」と石井さん。

現在のような、いつ世界同時株安が起こってもおかしくない状況下では、機動的に売買できるグローバルな金融商品は投資家にとって、必ず強力な武器になるはずだ。

2016年7月15日現在。